

# 日本語

## （125分）

### I 試験全体に関する注意

1. 係員の許可なしに、部屋の外に出ることはできません。
2. この問題冊子を持ち帰ることはできません。

### II 問題冊子に関する注意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見ないでください。
2. 試験開始の合図があったら、下の欄に、受験番号と名前を、受験票と同じように記入してください。
3. 問題は、記述・読解・聴読解・聴解の四つの部分に分かれています。それぞれの問題は、以下のページにあります。

|     | ページ   |
|-----|-------|
| 記述  | 1～3   |
| 読解  | 5～31  |
| 聴読解 | 33～47 |
| 聴解  | 49～52 |

4. 各部分の解答は、指示にしたがって始めてください。指示されていない部分を開いてはいけません。
5. 足りないページがあったら手をあげて知らせてください。
6. 問題冊子には、メモなどを書いてもいいです。

### III 解答用紙に関する注意

1. 解答は、解答用紙に鉛筆（HB）で記入してください。
2. 記述の解答は、記述用の解答用紙に日本語で書いてください。  
読解・聴読解・聴解の問題には、その解答を記入する行の番号 

|   |
|---|
| 1 |
|---|

、

|   |
|---|
| 2 |
|---|

、

|   |
|---|
| 3 |
|---|

、…がついています。解答用紙（マークシート）の対応する解答欄にマークしてください。
3. 解答用紙に書いてある注意事項も必ず読んでください。

※ 試験開始の合図があったら、必ず受験番号と名前を記入してください。

|      |  |  |   |  |  |  |  |   |  |  |  |  |  |  |
|------|--|--|---|--|--|--|--|---|--|--|--|--|--|--|
| 受験番号 |  |  | * |  |  |  |  | * |  |  |  |  |  |  |
| 名前   |  |  |   |  |  |  |  |   |  |  |  |  |  |  |



# 記述問題

## 説明

記述問題は、二つのテーマのうち、どちらか一つを選んで、記述の解答用紙に書いてください。

解答用紙のテーマの番号を○で囲んでください。

文章は横書きで書いてください。

解答用紙の裏（何も印刷されていない面）には、何も書かないでください。



## 記述問題

以下の二つのテーマのうち、どちらか一つを選んで 400～500字程度で書いてください  
(句読点を含む)。

1.

子供こどもが悪いことをしたとき、「厳きびしく叱しかることは必要ひつようだ」という意見があります。

一方で、「厳きびしく叱しかるのはよくない」という意見もあります。

両方りょうほうの意見いに触ふれながら、あなたの考えを述べなさい。

2.

人と一緒いっしょに仕事しごとや作業さぎょうをするとき、「自分おなと考え方おんがが同じ人とするのがよい」という意見があります。一方で、「自分おなとは考え方おんがが違ちがう人とするのがよい」という意見もあります。

両方りょうほうの意見いに触ふれながら、あなたの考えを述べなさい。

——— このページには問題はありません。 ———

# 読解問題

## 説明

読解問題は、問題冊子に書かれていることを読んで答えてください。

選択肢1, 2, 3, 4の中から答えを一つだけ選び、読解の解答欄にマークしてください。



試験問題としては成立していますが、  
著作権上の都合により本問題のウェブ掲載はいたしません。

II この国際交流ラウンジが実施していることはどれですか。

2

**国際交流ラウンジのご案内**

場所：第1校舎3階

開室時間：平日9:00~18:00, 土曜日8:30~12:00

(日曜日・祝日・大学の定める休日は閉室)

本学では、留学生と日本人学生との交流や、学生生活を充実させることを目的として、国際交流ラウンジを開設しています。積極的に活用してください。

ラウンジには、留学生や外国人を対象とする新聞・雑誌・パンフレット等が置いてあり、自由に持ち帰れます。また、閲覧・貸出が可能な日本語テキストが50冊以上あります。

また、ラウンジでは、TA（ティーチングアシスタント）とSA（シニアアドバイザー）による留学生支援が行われています。TAはレポートのチェック・ゼミ発表の準備・資料や教材の読解等、大学の授業に関する質問を、SAは生活やキャリアのアドバイスなどの学生生活を充実させるための相談を受けています。また、SAは、日本人学生の海外留学の相談にも関わっています。本年度の対応時間は次の通りです。

|    | 月曜日         | 火曜日         | 水曜日         | 木曜日         | 金曜日         | 土曜日 |
|----|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-----|
| TA | 10:00~16:00 | 13:00~16:00 | /           | 13:00~16:00 | 13:00~16:00 | /   |
| SA | /           | 10:00~13:00 | 11:00~15:00 | 12:30~14:00 | 10:30~15:00 | /   |

※対応期間：4月~7月, 9月~1月（夏季及び冬季休業期間を除く）

以上

1. 留学生向けのアルバイトを紹介する。
2. 留学生に日本語のテキストを貸し出す。
3. 留学生の母国の文化をパンフレットで紹介する。
4. 留学生同士の情報交換会を定期的に行う。

Ⅲ, Ⅳ

試験問題としては成立していますが、  
著作権上の都合により本問題のウェブ掲載はいたしません。

V 筆者が説明している新旧商品の入れ替わりは、どの順序で起こりますか。

5

何か新しい商品なりサービスなりが登場し、それが栄華を極めて最高潮に達すると、さらに新しいものが必ず出てきます。それは、いろいろな業界でくり返されてきたことです。

そして、次なる新しいものはすぐに広がっていくわけではなく、必ずと言っていいほど一旦古いものの抵抗が始まります。… (略) …

たとえば、携帯電話。

携帯電話が登場したときも、固定電話の反発がありました。… (略) …

3分10円であった市内通話料金が9円になったのも、携帯電話の登場に対する固定電話の反発の一種でした。

こうなってくると、やっぱり固定電話もいいよね、なんて話になったりします。一時的な現象としてそういう話がでてきます。それでも、結局は時代の流れであるモバイル文化の台頭は誰にも止めることができません。

(主藤孝司『なぜ、テレビCMをやめると売上げがあがるのか?』ゴマブックス)

1. 新商品の登場 → 古い商品の全盛 → 古い商品の抵抗 → 新商品の全盛
2. 古い商品の衰退 → 新商品の登場 → 新商品の全盛 → 古い商品の抵抗
3. 新商品の登場 → 古い商品の全盛 → 新商品の全盛 → 古い商品の抵抗
4. 古い商品の全盛 → 新商品の登場 → 古い商品の抵抗 → 新商品の全盛

VI, VII, VIII, IX

試験問題としては成立していますが  
著作権上の都合により本問題はウェブ掲載いたしません。

X 次の文章で筆者が最も言いたいことはどれですか。

10

現在のコンピュータは「論理的な計算や思考」は得意だ。論理的な思考というのは、たとえば「人間は動物である」と「動物は必ず死ぬ」という2つの事実から、「だから人間は必ず死ぬ」といった事実を導き出すようなことをいう。

ところが、人間の脳はもちろん論理的な思考もしているが、それだけでなく「直感的な思考」もしている。私たちが「何かひらめいた!」と思ったとき、それは必ずしも論理的に考えたものではない場合が多い。現在のコンピュータでは、このような直感的思考をすることができないのだ。…(略)…

かといって、現在の形のコンピュータに価値がないわけではもちろんない。論理的思考や計算のスピードという面では人間以上に力を発揮するからだ。そういう意味で、コンピュータは私たちの生活に欠かせない道具だといえる。

(山田宏尚『コンピュータのしくみ』ナツメ社)

1. 現在のコンピュータは、自分で新たな論理を考え出せる。
2. 人間は、論理的思考においてコンピュータより優れている。
3. コンピュータは、直感的思考において人間以上の力がある。
4. 人間とコンピュータには、それぞれ優れている点がある。

このページには問題はありません。  
次のページに進んでください。

XI 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

企業は、都会と地方とか、学生・シニア・サラリーマンなどのグループに分けて、価格を変えることがあります。これをグループ別の価格差別と言います。…（略）…

グループ別の価格差別をおこなう企業は、それぞれのグループで「消費者がどのくらい価格に敏感か」を判断して、価格を設定します。そのための最大のポイントは、「価格に敏感な消費者が多いグループ」と「価格に敏感でない消費者が多いグループ」にきちんと分かれるようなグループ分け。これができないと、価格差別は成功しません。

消費者が価格にどれほど敏感かは、値上げや値下げに対してどれほど需要量（購入量、消費量）を変化させるか、その反応の大きさを計られます。その指標として「需要の価格弾力性」と呼ばれるものがあります。

簡単に説明すると、価格差別をおこなう企業は、需要の価格弾力性が大きいグループに対しては、「少し値下げすると大幅に需要量を増やしてくれる」と考えて、安い価格で売ります。逆に、需要の価格弾力性が小さいグループとみなされると、企業が「値上げしても需要量はさほど減らないだろう」と考えますから、高い価格を提示されがちです。

そう考えると、学生やシニアに対する割引はよくみかけるのに、「サラリーマン割引」がほとんど見当たらない理由がわかります。

（吉本佳生他『出社が楽しい経済学』日本放送出版協会）

問1 筆者は、「価格差別」が成功するための条件は何だと述べていますか。

11

1. 価格に応じて、商品の機能に明らかな優劣をつけること
2. 価格に反応する程度に応じて消費者を分類すること
3. 他社の製品よりも、安い価格を提示すること
4. 消費者に値上げや値下げに関する情報を提供すること

問2 この文章で筆者が述べている「需要の価格弾力性が小さいグループ」の人々の消費行動として、最も適当なものはどれですか。

12

1. 商品の小幅な値下げに対し、購入量が大幅に大きくなる。
2. 商品の小幅な値下げに対し、購入量が大幅に小さくなる。
3. 商品の小幅な値上げに対し、購入量が大幅に小さくなる。
4. 商品の小幅な値上げに対し、購入量が大幅には変化しない。

XII、XIII、XIV、XV、XVI

試験問題としては成立していますが、  
著作権上の都合により本問題のウェブ掲載はいたしません。

XVII 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

日本で\*ピクトグラムが広く普及したきっかけは、1964年に東京で開かれた第18回夏季オリンピックでした。… (略) …

戦後の新しい日本を世界にアピールする大きなチャンスであると同時に、文化や風習の異なる人たちをどのようにもてなすか、当時の日本にとっては大きな課題でした。

特に問題となったのが、言葉の壁。当時、日本国内の案内板は「食堂」「お手洗」などといった文字による表示が中心でした。しかしそれでは、90数カ国から来日する外国人選手たちには意味が伝わりませんし、世界中から観戦に来た人たちが会場までどう行けばいいか迷ってしまいます。

そこで当時、重要な役割を果たしたのが、戦後、美術評論家として活躍していた勝見<sup>まさる</sup>氏（1909～1983年）でした。勝見氏をよく知るデザイナーでピクトグラムの第一人者でもある村越<sup>あいさく</sup>愛策さんは、当時のことをこう説明します。

「英語やフランス語、ドイツ語、ロシア語など、各国の文字をすべて表示するのは不可能なので、絵文字を作ろうと提案したのが、東京オリンピックのデザイン専門委員会委員長となった勝見さんでした。彼のもとに若手グラフィックデザイナーが大勢集まり、いくつものピクトグラムを考案しました」

彼らが作ったピクトグラムは「陸上競技」「<sup>そうてい</sup>漕艇」「体操」などの競技種目を表すもの… (略) … から、「トイレ」や「公衆電話」など公共施設や設備を表すものまでさまざまでした。特に、オリンピックの競技種目を表すピクトグラムが体系的に作られたのはこのときが世界初で、それらが高い評価を受けたことで、その後のオリンピックでも開催各国がそれぞれにデザインを変化させて受け継ぐこととなったのです。このような歴史から、オリンピックのピクトグラムは「絵文字の国際リレー」とも呼ばれています。

なお、この制作作業を終えた後、デザイナーたちは、勝見氏の呼びかけにより著作権を放棄する旨を書類に署名したといます。そこには、自分たちがオリンピックに向けて<sup>つく</sup>創り上げた成果を、世界の財産として発展させたいという思いがあったとのこと。この時も、個人個人が著作権料を要求していたら、これら日本発の優れたデザインが世界に受け継がれていくことはなかったかもしれません。

(重光純「ヨーロッパで生まれ日本で発展 ピクトグラム」『国民生活』2014年2月号)

\*ピクトグラム：絵文字。右は、  
「お手洗い」と「撮影禁止」の例



問1 東京オリンピックのとき、たくさんのピクトグラムが考案されたのは、どのような問題を解決するためですか。

23

1. すべての国の文字で表記するのは現実的ではないという問題
2. 外国語に翻訳しても意味が十分伝わらないという問題
3. 来日する外国人が多すぎて案内板が足りないという問題
4. 日本の文化は外国人にわかりにくいという問題

問2 下線部「絵文字の国際リレー」は何を意味していますか。

24

1. オリンピック開催国がデザインを変化させつつピクトグラムを使い続けていること
2. 東京オリンピック以後も、日本のピクトグラムがそのまま使われていること
3. 国際的なスポーツ大会で選手たちがピクトグラムで意思疎通をするようになったこと
4. 国際的なスポーツ大会用のピクトグラムのデザインが、国際的に統一されたこと

問3 ピクトグラムについて筆者の考えと合っているものはどれですか。

25

1. ピクトグラムは世界の財産だから、著作権の対象にはならないはずだ。
2. 日本のデザイナーはピクトグラムの著作権を放棄すべきでなかった。
3. ピクトグラムが世界に普及したのは、著作権が放棄され自由に使えたからだ。
4. ピクトグラムが受け継がれたのは、日本のピクトグラムには歴史があったからだ。

——— このページには問題はありません。 ———

# 聴読解問題

## 説明

聴読解問題は、問題冊子に書かれていることを見ながら、音声を聴いて答える問題です。

問題は一度しか聴けません。

それぞれの問題の最初に、「ポーン」という音が流れます。これは、「これから問題が始まります」という合図です。

問題の音声の後、「ポーン」という、最初の音より少し低い音が流れます。これは、「問題はこれで終わりです。解答を始めてください」という合図です。

選択肢 1, 2, 3, 4 の中から答えを一つだけ選び、聴読解の解答欄にマークしてください。

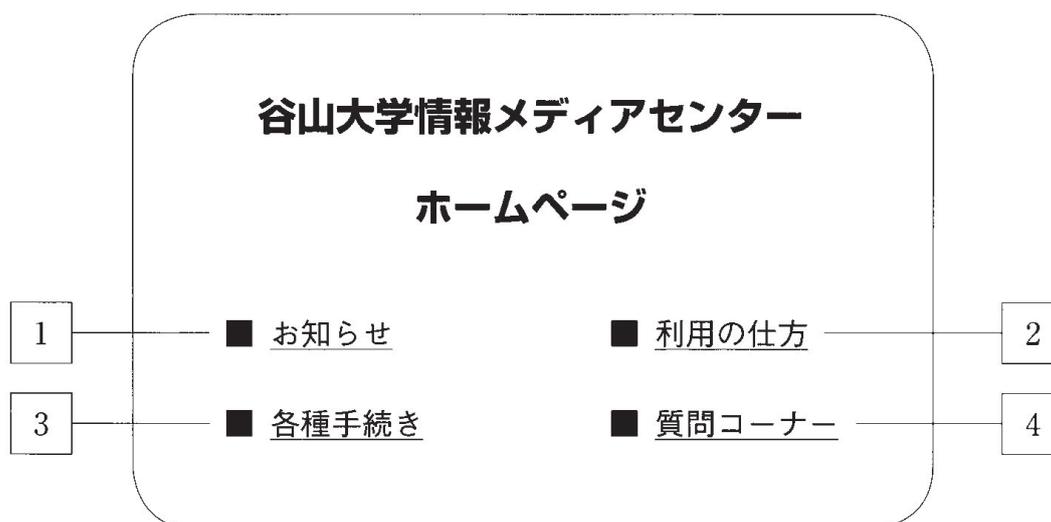
1 番の前に、一度、練習をします。



## 聴読解問題

## 練習

学生がコンピュータの画面を見ながら先生の説明を聞いています。学生は今、画面のどの項目を選べばいいですか。



1番、2番、3番

試験問題としては成立していますが、  
著作権上の都合により本問題のウェブ掲載はいたしません。

4番

男子学生と大学の事務職員が話しています。この男子学生はどの教室を予約すると言っていますか。

4

教室使用予約状況

17日 (金)

☑: 予約済

|   | 収容人数    | 8:50~<br>10:20 | 10:30~<br>12:00 | 昼休み | 13:00~<br>14:30 | 14:40~<br>16:10 |
|---|---------|----------------|-----------------|-----|-----------------|-----------------|
| 1 | 東棟 101  | 50名            |                 |     |                 |                 |
|   | 102     | 100名           |                 |     |                 |                 |
|   | 中央棟 202 | 100名           |                 |     |                 |                 |
| 2 | 203     | 150名           |                 |     |                 |                 |
| 3 | 204     | 90名            |                 |     |                 |                 |
|   | 西棟 301  | 90名            |                 |     |                 |                 |
| 4 | 302     | 150名           |                 |     |                 |                 |

5番、6番、7番、8番、9番、10番、11番、12番

試験問題としては成立していますが、  
著作権上の都合により本問題のウェブ掲載はいたしません。

——— このページには問題はありません。 ———

# 聴解問題

## 説明

聴解問題は、音声を聴いて答える問題です。問題も選択肢もすべて音声で示されます。問題冊子には、何も書かれていません。

問題は一度しか聴けません。

このページのあとに、メモ用のページが3ページあります。音声を聴きながらメモをとるのに使ってもいいです。

聴解の解答欄には、『正しい』という欄と『正しくない』という欄があります。選択肢1, 2, 3, 4の一つ一つを聴くごとに、正しいか正しくないか、マークしてください。正しい答えは一つです。

一度、練習をします。

この問題冊子を持ち帰ることはできません。

— ヌ 毛 —

— メ モ —

— ヌ 毛 —